

# 「川内北中学校の川内大綱引伝承活動の取組」

## 1 学校名

薩摩川内市立川内北中学校

## 2 学年・人数

1年生 103人 2年生 95人 職員 13人

## 3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所 なし

(2) 発表の日時・場所 令和元年9月7日(土)

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### (1) 名称

せんだいおおつなひき

川内大綱引

さつませんだいこどもおおつなひきつなねり

(薩摩川内子供大綱引綱練)

### (2) 由来

川内大綱引は、島津義弘公が関ヶ原の戦いの前に、薩摩藩の志気を高めるために始めたものといわれ、410年余の歴史がある。昔から商売繁盛と五穀豊穰を祈念して上方、下方にわかれて綱を引き合う喧嘩綱と呼ばれる薩摩川内市の伝統行事で、鹿児島県指定無形民族文化財である。川内大綱引400年祭より、薩摩川内市内小学校へ参加を呼びかけて始まったのが、薩摩川内子供大綱引である。子供大綱引は、綱の大きさこそ3分の1だが、川内大綱引の綱練から進行まで本番同様に行い、子供たちへの薩摩川内市の歴史ある文化を継承し、大綱引きの認識を高めることを目標にしている。

### (3) 構成等

川内大綱引保存会、川内大綱引実行委員会、薩摩川内市教育委員会  
薩摩川内市内小学生、薩摩川内市内中学生

## 5 保存会や地域との連携の具体

川内大綱引保存会及び実行委員会から薩摩川内子供大綱ボランティアとしての参加依頼を受けて、生徒募集を行い、部活動単位で参加をしている。教頭が窓口となり、実行委員会への参加者を報告するなど、連絡・調整を行う。当日は、保存会及び実行委員会の方々の指導のもと、会場設営や綱練等を積極的に行っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

できるだけ多くの生徒に薩摩川内市の歴史ある文化を継承し、大綱引きの認識を高めたいと考え、早めに呼びかけを行ったり、部活動顧問を通じて積極的な働きかけを行ったりしている。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



〔綱練りに取り組んでいる様子〕



〔出来上がった子供大綱と一緒に〕

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒の感想】

伝統ある川内大綱引の大綱が，このようにして練られていることを体感できて楽しかった。実際には，太さも長さもこの3倍もの大きさだということなので，すごいと思いました。また，川内大綱引は，400年をこす歴史のある行事であり，自慢できる行事です。これからもずっと続いて欲しいと思います。

### 【教員の感想】

川内大綱引の綱を練る作業を体験し，伝統文化を継承したような気分になった。これから，ふるさとコミュニケーション科や教科，道徳，学活等の授業で，今回の体験を生徒に語り，川内大綱引の魅力を伝えていきたい。今後も，薩摩川内市の行事等に参加し，薩摩川内市の魅力を生徒に伝え，ふるさとを愛する心豊かな生徒を育成していきたい。